

広沢小学校

学校通信

希望の鐘

桐生市立広沢小学校

平成29年10月2日

第10号 児童数510名

学校評価から見えるもの

平成29年度第1回の学校評価の結果がまとまりました(6月下旬実施夏休み集計)。

17の質問項目について、児童の結果は15項目が90%以上の達成、保護者の結果も13項目で90%以上達成です。目標値は、質問項目により80%または90%で設定しています。

児童・保護者ともに80%台の結果は、「**家で学習(宿題)や読書を1日あたり30分(1,2年)40分(3,4年)60分(5,6年)以上している**」の項目で、全校平均で**児童87%、保護者78%**でした。目標値は80%の設定です。保護者の値が9ポイント児童より少ない結果です。

もう一つの80%台の項目は、児童では「**将来の夢や希望を家の人に話している**」が83%。保護者では「**お子さんは自分から進んであいさつができています**」が84%でした。

さて、全国学力・学習状況調査(6年生)においても、家庭学習(塾や家庭教師を含む)の2時間以上が、県や全国平均より少ない結果が出ています。すなわち、2時間以上が、本校14.4%、県24.5%、全国27.4%。1時間以上2時間未満が、本校67.5%、県41.8%、全国37.3%。しかし、30分以上1時間未満は、本校15.7%、県25.1%、全国24.3%という結果であり、県や全国に比べて、2時間以上は少ないですが、30分以上も少なく、平均1時間以上学習している状況がわかります。

学習習慣は、小学校時代に身につける必要がある大切なスキルです。将来大人になって、仕事を行う上でも大切な素地です。漢字や計算、音読など通常の宿題に加え、自主学習のモデルを提示、班で回す自主勉ノート、第13区家庭の日にあわせた家庭学習の日は親にサインをもらう宿題の設定など工夫を継続して行います。**家庭でも励ましの声かけ**をお願いします。

さて、自由記述でいただいたご意見についていくつか紹介します。

【ご意見】親が学校に来る行事の回数を減らしてほしい。授業参観と引き渡し訓練をいっしょにしてほしい。→《回答》引き渡し訓練は、緊急時を想定しての訓練です。実際に起こる場合も勤務先や自宅から来てもらいます。また、広沢中学校との合同実施で、兄弟姉妹がいる場合にも対応しています。授業参観と同日開催は、引き渡し訓練の意義からそれるので、ご理解をお願いします。

【ご意見】運動会のプログラムの順番について、リレーが最後ですが選手に選ばれていない方は帰り始めていたので、5,6年の表現を最後にしたらどうか。→《回答》検討した結果、5,6年表現の七頭舞の後に閉会式だと、裸足から靴をはく準備に時間がかかるので、今年も昨年通りのプログラムにしました。今年は、団対抗リレーの時も、帰らずに多くの方がご覧になり声援してくれました。

【ご感想】教室のすりガラスが一部透明になった。教室の様子が廊下からわかりありがたい。親の送迎についても当たり前のようにあったが、昨年から、原則禁止にしてもらい本当の意味で当たり前に戻ってくれたので感謝しています。→《回答》今後も安全安心な学校作りのために物的人的に配慮をしていきます。

その他にも多くのご意見ご感想を毎回いただいております。学校経営に反映していきます。**日常の学校生活での疑問やご意見があった場合は、連絡帳で担任までお知らせください。**

なお、平成29年度第1回学校評価集計結果については、学年ごとの児童及び保護者のすべての数値をWebページで公開しますので、ご覧ください。



9/5たてわりクリーン集会の様子

益城町広安小 手紙の交流

1学期末にJRC委員会児童16名が代表して、広安小のみなさんに手紙を書きました。次のような内容です。

「広安小学校のみなさん、こんにちは。お元気ですか。昨年集めた募金は、お役に立ちましたか。少しでも役に立てたなら幸いです。まだまだ暑い日が続きますが、がんばってください。私達広沢小のみんなで、復興が進む事を願っています。一日でも早くいつもの生活に戻れるように、応援しています。」

9/20に広安小執行部の児童のみなさん(5,6年)から返事が届きました。一部を紹介します。

「広沢小学校JRC委員会のみなさんへ。お手紙読ませていただきました。今僕たちは元気です。学校では数人転校してしまいましたが、体育館が使えるようになりました。卒業式には間に合いました。たくさんの募金ありがとうございます。去年の運動会は9月でしたが今年は5月に行うことができました。」「通れなかった廊下も1年4ヶ月かかって、通れるようになりました。児童の中には仮設住宅で生活している人もいますが、みんな元気に過ごしています。そして、みなさんの義援金などで、必要なものを学校で買って使っていて、とても助かっています。本当にありがとうございます。」



また、広安小の吉田校長先生からは、御礼のお返事をいただきました。その中には次のようなことが書かれていました。また、右上の写真も同封されていきました(許可を得て掲載します)。

- ・避難所となった学校は、すべての教室と運動場が人であふれかえり、5月9日の学校再開後も、8月18日までは体育館が避難所になったこと。
- ・昨年度の1学期は教職員が引率しての登下校が続いたこと。
- ・震災直後は400台以上の車で運動場は埋め尽くされたこと。
- ・5月に予定していた運動会は9月に実施することができたこと。
- ・昨年度は震災の影響で35名の児童が転校を余儀なくされたこと。
- ・現在も700名の児童の内、校区外や仮設住宅から、車やバスで通学する児童が1割いること。
- ・現在益城町には17カ所の仮設住宅が建設されており、今も避難生活をしていること。
- ・長期化する仮設住宅での生活で、将来に対する不安を抱えている児童もいること。
- ・地震後、プールの水が全部抜けてしまったり、体育館の床を全面張り替えたりしたこと。
- ・校内に3カ所立ち入り禁止場所があること。修復まで時間がかかること。

そして、吉田校長先生は、次のように結んでいます。

「まだまだ復興への道のりは長く険しいですが、広沢小の皆様をはじめとして、全国の多くの皆様に見守られながら、一步一步前に進んでいきたいと思っています。」

通信文責:校長 伏島均